株式会社 デンタルセラミック井戸川

技術力
ナンバーワンを目指し
受注拡大に挑む

歯科医師の指示のもと、何度もやりとりを繰り返し一つずつ丁寧に手作業で製作する義歯。作業時間を短縮するため大型自動脱蝋機と自動充填・重合機を導入しました。

時間を生産力に変え、さらにレベルの高い技術を目指していきたい

患者さんのことを第一に、どれだけ違和感なく自然なものを作れるかを一番のポイントとして義歯や差し歯などの製作を行う同社。患者さん個々の口に合った義歯を作るためには細かな手作業が必要で、一組が完成するまで多くの時間を要していました。

「手作業であるため大変な時間がかかることが一番のネックです。これをどうにか機械化することで短縮できないかと思っていました。どうしても最初から最後まで人がつきっきりで作業をしないといけない状況があり、作業効率が非常に悪いという問題がありました」

そこで大型自動脱蝋機と自動充填・重合機を導入。仮で作った義歯の歯肉部に使っているワックスを溶かし「レジン」を流し入れ、加圧・加熱する一連の作業を機械化しました。作業効率の改善はもちろんのこと、ヒューマンエラーが少なくなり、経験の浅い従業員でも精度の高い義歯を作れるようになりました。

「一番のメリットは、三つの義歯が一度にできるということ。ボタンひとつで機械が全て作業をしてくれます。従業員にも余裕ができたので、空いた時間で他の作業ができるようになりました。品質のバラつきもほとんどなくなりました。品質が向上した上に短期間で納品できるようになったことで、医師にも患者さんにも喜んでいただいていると思います」

本物の歯と見分けがつかないセラミックの義歯。

ものづくり補助金活用 ここがポイント

自動充填・重合機導入で時間短縮と品質の向上を実現

石膏で作った義歯の型にレジンを流し入れる「充填」、圧をかけ加熱する「重合」を連続して自動で行えるので、製作時間の短縮と良質な義歯を作れるようになりました。

Q1 どのくらい作業時間が短縮されたのですか？

A 2時間要した作業は半分の1時間でできるようになり、受注してから患者さんに早く納品できるようになりました。

Q2 力を入れている取り組みは？

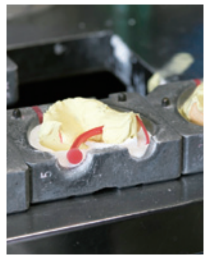
A 将来の歯科医療を担う人材育成を強化しています。「歯科医師に信頼されて期待に応えていきたい」と、若手スタッフは意欲とやりがいをもって技術を磨いています。

〈 代表取締役 〉
井戸川 義輝
いどがわ よしてる

［ 座右の銘 ］
途中困難
最後必勝

Q3 今後の展望は？

A 機械を導入したことで有効に使える時間ができました。さらに個々の技術を磨いてどこにも負けないような製品を作っていきたいと思っています。



さらに、手作業では加工できなかった熱可塑性レジンなどの新素材で義歯を製作することも可能となりました。

「これまで使用していたレジンは、衝撃に弱く吸水性が大きく変色しやすいのが欠点でした。しかし、熱可塑性レジンは吸水性が低いため変色が起こりにくく、臭いが付きにくいんです。これからも患者さんに喜んでもらえるように高度な技術を身につけたいですね」

case **10**
歯科技工物の製作
株式会社 デンタルセラミック井戸川

〒880-0041 宮崎県宮崎市池内町小鹿黒3562番地2
TEL 0985-39-5337

動画でもCHECK!